令和８年９月３０日

ＣＳ神興東　保護者の皆様

福津市立神興東小学校
コミュニティ・スクール神興東
校長　的場　隆幸

全国学力・学習状況調査の結果について

４月に、６年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数）について、お知らせします。**この結果は学力の全てではなく、一部ですが、この結果をしっかり分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。**

国語

◆正答率では、全国及び県平均を上回っています。
◆特に、言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が高いです。
◆「書くこと」以外の問題において無回答率が低い傾向があります。

【考察と今後の取組】

▽正しい漢字を書くことができる児童が多いです。家庭学習での積み重ねや、日常の授業で、学んだ漢字を使って文章を書くようにしていることが、力の定着に結びついたと考えられます。また、文章の特徴や工夫を見つけることがよくできていました。授業の中での丁寧な取り扱いや、これまでの児童自身の読書習慣が生かされていたのだと考えます。

▼必要な情報を読み取って、前後の文章のつながりをもとにしながら文章を書く力がまだ十分ではないようです。国語科だけでなく、社会科等の他教科でも、資料から読み取る経験を多く積ませていけるように取組んでいきます。

算数

◆正答率では、全国及び県平均を上回っています。
◆特に、「数と計算」の問題において、正答率が高いです。
◆「変化と関係」の正答率が低い傾向が見られました。

【考察と今後の取組】

▽基本的な四則計算が正しくできる児童が多いです。「がんばりタイム」での基礎基本の習熟や活用に向けての取組は、児童の基礎学力の向上に大変有効であったと感じています。**地域・保護者の皆様、いつもご協力ありがとうございます。**

▼表から立式する力や、資料から必要な情報を取り出して正しく処理し、答えを求める力がまだ十分でないようです。表の意味を丁寧に押さえたり、たくさん情報がある中で、必要なものだけを取り出し整理したり、という経験を積み重ねていきたいと考えます。

児童質問紙調査

６年生対象の全国調査には、学力テストだけでなく、児童の学習習慣や生活態度、ものの考え方等の調査も行われます。たくさんの項目の中から、福津市や本校が特に大切にしている項目に絞って報告いたします。

〇自分には、よいところがあると思いますか。
〇将来の夢や目標をもっていますか。
〇人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
〇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
〇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
〇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

◇「自分には、よいところがある」と答えた児童が全国平均をやや上回っています。縦割り活動や係活動、当番活動など、学級や自分以外の誰かのためにできることを考えて行動することで、友達や他学年から認められ、自己有用感の向上につながったようです。

◇「人の役に立つ人間になりたい」や「地域貢献」の項目では、全国平均をやや上回りました。縦割り活動で下学年の世話をしたり、ふるさと学習で地域の方と触れ合い、自分たちの地域への愛着が深まったりしたことが結果につながったと考えられます。

◇「いじめはどんな理由があってもいけない」と答えた子供が全国平均をやや上回りました。道徳を主とした全教育活動、また、学校と家庭が同じ意識で子供たちのいじめに対する規範意識を高めた結果と考えられます。

◆「夢や目標がある」の項目では、全国平均をやや下回りました。キャリア学習を充実させ、子供自身が自分の将来を考える時間をしっかりと確保したり、夢に向けて「なりたい自分」をより具体的に設定し、定期的に振り返る活動を行ったりし、自分の成長を実感できるように取組んでいきます。

◆「平均１時間以上の学習」の項目が全国や県の平均を下回っていますが、昨年度と比べると改善傾向にあります。チャレンジウィークや自学など、自ら計画を立てて学ぶことが習慣となるような取組を行っていきます。

※その他、自己有用感・家庭とのつながり・対話的な学びの項目において、県・全国を上回っており、児童の学びの「土台」は整っていると考えられます。一方で、学びの「表現・発信」に関わる項目は、児童にとって難しいようでした。特に、自分の考えを工夫して発表する経験や、ICT を活用した情報の収集・整理・発表については、県・全国を下回っており、今後、学校や家庭学習の中で経験を積んでいけるようにしていきます。